
【ネタ】不敗の魔術師

ネア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【ネタ】不敗の魔術師

【NZコード】

N4484Q

【作者名】

ネア

【あらすじ】

もし……あの人があの人にいたら……。

(前書き)

題名で知っている人は分かることと思います。

天の御使い。彼が曹魏に属した外史で、彼の知識通り反董卓連合軍が結成され、シ水関を攻略することになった。

そこまではよかつたのだ。華雄が突出して討ち取られる。

問題は『人中の呂布』と戦うであろう虎牢関だと考えていた。

しかし目の前の状況はなんだ？

戦線を乱され、分断包囲され各個撃破される連合軍。どの軍の将も敵軍の軍師の策に脅威を覚え、軍師のものであらう『楊』の旗を見つめた。

「どうやら上手くいったな」

当の軍師である男性は後ろ頭を搔いてほつとした表情をした。

「さすがでござります、楊文里さま」

「まあ何処かの軍が乗つてくれればよかつたけれど、一番の大軍を率いていたエン紹軍を嵌められたからね」

副官であろう青年が彼を褒めたたえるも、男性は謙遜して言った。

「「」のまま一拳に叩き潰しましょ「」」。

「いや、「」」は退こう」

「し、しかし！」

「味方の機動性が失われつつあるし、敵軍の混乱が収束しつつある。敵さんも一回退くだらうから、それに乗じてこちらも虎牢関に退こう」

「は、はあ」

彼に諭された副官は、しかし華雄將軍が撤退を認めるでしょうかと問う。

「大丈夫さ、虎牢関で存分に腕を振るうことができるような作戦だと知つて、納得しているだらうし」

それに答えた男性は「それに……」と続けよつとしたところで敵軍の動向に気づき、全軍に号令をかける。

「よし今だ、全軍、逃げろ！」

富廷の一室に左慈と名乗る少年が入つて来る。

「おいウ吉、外史に異物が入り込んだ……なにやつてるんだ」

ウ吉と呼ばれた人物は机に胡座をかけて座つており、入つて来た差

慈に向かつて、

「紅茶をくれ、ブランデー入りで」

とのたまい、ミサイルキックを貰つたそつた。

(後書き)

テ口で死んだと思ったら、見知らぬ森の中。
さ迷っているところで董卓陣営の誰かに拾われる。
軍議に口を突っ込んでしまい。魔術師バレる。
後はズルズルと（笑）

感想お待ちします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4484q/>

【ネタ】不敗の魔術師

2011年2月5日00時08分発行